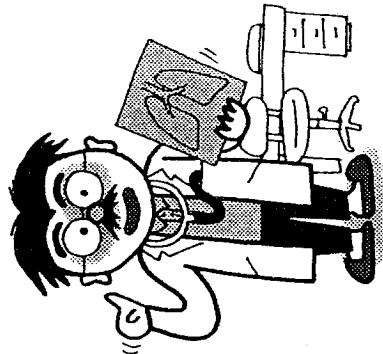


# けっかく 結構のひがい

第1号  
2004年5月版

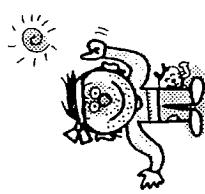


## ホームレスの人々の結核を考える会

【連絡先】新宿ホームレス支援機構  
新宿区大京町3 新大京マンション304  
電話 03(3226)6845  
ファックス 03(5367)5667

## ホームレスの人々の結核を考える会

【連絡先】新宿ホームレス支援機構  
新宿区大京町3 新大京マンション304  
電話 03(3226)6845  
ファックス 03(5367)5667



ホームレスの人の間に結核患者が増えていることを受けて、行政により新しく実施されたのが、先に書いたように「路上結核健診」や居宅で薬を飲む方法です。結核は治療すればなる病気なので、心配せずに、さまざまな支援策を利用しましょう。一人で福祉事務所などに行くのが心配な方は「新宿ホームレス支援機構」に連絡をください。

## 1 結核のことを知っていますか？

日本で野宿を余儀なくされる人たちが増えはじめた10年以上がたちました。ここ東京では、山谷のような日雇い労働者の街や、新宿のようなターミナル駅で目立ちはじめたのが91年ごろです。現在では23区と三多摩の市部を合わせると1万人にはなると考えられます。

みなさんは、野宿をはじめどれくらいになるのでしょうか？ ブルーシートで小屋掛けなどをしておられますか？ それとも、夜だけダンボールなどで風いをつくつて寝ておられるのでしょうか？ 食事の取り具合はどうでしょうか？

緊急一時保護センター（台東寮・新宿寮・豊島寮・墨田寮・渋谷寮）や自立支援センター（大田寮・板橋寮・江戸川寮）や自立センター（公園のブレーテント居住者を対象にしたアパート借り上げ事業も近々はじまります。一昨年制定された、「ホームレスの元気な生活法」には、ホームレスの人ひとための保健・医療の充実も大きな柱になっています。みんな

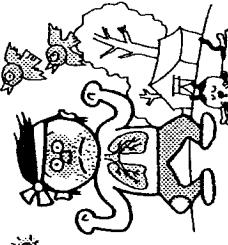
さんにおける結核について知っていますか？ ただきたいと、結核予防会のお医者さんたちに教えていただき、このチラシをお配りします。



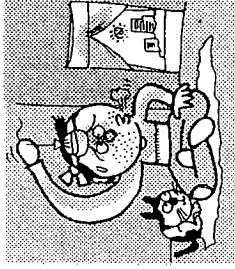
よく知られているように、結核という病気は、日本ではもうなくなつたと考えらていた時期もあるのですが、90年代に入つて再び患者が増え始め、関係者の間で心配されていました。2000年以降はおちついてきているものの、生活環境と栄養状態の悪いホームレスの人びとの間では、一般社会の何倍ものいきおいで蔓延しています。例えば、新宿では、冬の間、誰でも2週間入れる「厳冬期対策」（「げんとう」と呼ばれている）というシェルター人所者150人のうちに9人の結核患者が見つかりました。また、「体のぐあいが悪い」と福祉事務所を訪れるホームレスの人たちにも、多数の患者さんが見つかっています。シェルターに入所してからではなく、野宿状態でも結核については、後に述べるように、治療や生活保護による生活の保障など、行政による対策が採られるようになってきています。少しでも心配な方はぜひ行動を起こしてください。

## 2 結核ってどんな病気？

- ・咳や痰が長くつづきます。ふつうの風邪だと1~2週間くらいで良くなるのがもつとつづくのです。2週間以上の長引く咳は赤信号です。
- ・咳・痰といっしょに微熱が出たり、だるくなることが多いです。



## 3 どんな人が罹りやすいか？

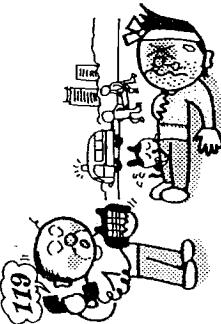


- 栄養状態の悪い人
- 昔、結核にかかるつて完全になおるまで治療しなかった人
- 糖尿病にかかっている人
- 胃を手術したことのある人

## 4 結核が心配になつたら？

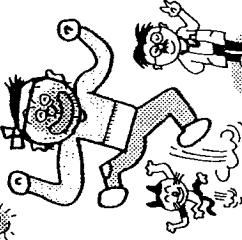
- 2週間以上続く咳などがある方は、最早もはり福祉事務所に行き、そう言いましょう。医療機関でレントゲンを撮る手配をしてくれば。
- 費用はかかりません。

- 「路上結核健診」（路上生活者のためのレントゲン健診）が実施されている地域もあります。保健所などからお知らせがみなさんのものに回ってきます。しかし、回数が少なく、年に1回がふつうです。
- 他の病気の場合もそうですが、血を吐いたり、動けないほど苦しい場合は、周りの中間や通りがかりの人へ救急車を呼んでもらいましょう。



## 5 治療はどうすればいいの？

最近はよい薬ができるので、初めて結核の治療を受ける人のほとんどはこれらの薬をきちんと飲めば半年から1年以内に完全に治ります。が、きちんと薬を飲まなかつたりすると、治らないばかりか薬が効かなくなってしまいます。治療を途中で止めたりすると、体が弱つたときに、ひそんでいた菌が勢いを強くし、前より悪い状態になってしまいます。主治医に「なおった」と書われるまできちんと治療をつづけることが大切です。



## 6 その費用は？

- 結核だと診断されれば、入院や通院になるわけですが、ホームレスの人の場合、最初は入院です。入院費用は「結核予防法」という法律によりカバーされ、自分で負担しなくてよいのです（生活保護のほうから日用品費も出ます）。病気が軽い場合は入院せず通院で治療することもできます。
- 最近では、2~3ヶ月で退院して生活保護により、施設、宿泊所、アパートなどに住んで、保健所などに毎日薬を飲みに通う方法（DOTS ドッツ）も選べるようになつてきています。この場合も、生活保護法と結核予防法により、自己負担はありません。



# 結核を治療したことをきっかけでなった。

(Hさん)

2000年夏、新宿の中央公園で寝ていました。自分は糖尿病で腎臓も悪く、むくみが出て動けなくなり、「動けないんじゃ出て行け。」と言われてしかたないから飯場を出て、金のあるうちはサウナに泊まっていたんだけど、金も底をついて、野宿になつたのです。

ダンボール拾ってきて公園でゴロ寝し、雨のときは新宿駅で寝ていました。駅は夜11時からでないと寝られません。毎朝おにぎりをもらっていました。新宿連絡会の炊き出しのときに、「具合の悪い人は生活保護の申請をしませう。福祉事務所につきそつて行きます」とアナウンスしていました。それを聞いて、自分は一人で行ってみた。「糖尿病でどうしようもない」と話したら、生活保護を受けたドヤに入ることになりました。

最初にかかった病院は内科しかなくて、「栄養不足がなんかしらないけど、セキが出てとまらない」と言つたら、総合病院を紹介してくれました。そここの呼吸器科でレントゲンをとり、タンの検査も受けました。1ヵ月くらいして結果が出、「ガフキー8」という結核の重い餓饉であることがわかりました。そんなに重いなんて、自分で

も驚きました。

国立療養所に7カ月入院しました。ふつう4カ月くらいなんだけど、自分の場合は糖尿病もあつたから。退院して宿泊所に泊り、その後ドヤに落ち着きました。退院してからは、DOTS(ドツツ)で保健所に通いました。病院にいた時から先生に、治るということを言われており、また仲間の経験などを聞いていたので、きちんと薬は飲んでいました。ドツツで、毎日保健所に歩いてかよ通つたのがよかったです。いい運動になった。生活中メリハリができました。じやなきや、ドヤでゴロゴロしてただけだから。

そして最後まで治療を完了することができました。結核を治療し、治つたことがきっかけとなり、人とのつながりができることが一番よかったです。いま、「もやい」という、アパートの保証人提供をするNPOでお手伝いしています。「もやい」は保健所を通じて知りました。また、新宿連絡会の炊き出しの手伝いも1年以上行っています。結核はきちんと治療すれば治るというこうとを広く宣伝してほしいと願っています。